

『星空を見上げて』 寸評

- ・すなおな感性でつむがれたのびやかなメロディ
- ・メロディに対応した前半のトリッキーなリズムの伴奏と後半のおちつきがみせるコントラスト
- ・m.6 b.1-2 メロディの和声外音が最高音でクライマックスを形成
- ・小品ながら作曲者の和声感がはっきり伝わってくる
- ・タイトルもよい

完成度をさらに上げるために

- ・m.2 左手の拍数が半拍足りない
- ・m.4 左手の拍数が半拍多い
- ・m.1-4 タイを利用して強拍の第3拍がかくれないように書きなおそう（↓参考例、一部原曲から改変）



- ・m.3 b.3 属音ソを鳴らして主和音への解決をより印象づけたい
- ・m.7 b.4も同様に属音ソからm.8 b.1-2の主音へと終止感を演出したい
- ・m.1 b.2 メロディとぶつからないようにしたい（参考例）
- ・さいごは終止線にしよう
- ・m.8 メロディも全音符で左手といっしょに終わってよいのでは

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

とてもすてきなメロディです。

持麿 勉